



の条件から台風、豪雨、洪水、土石流、地震、噴火など、さまざまな災害が起こりやすい国土です。日頃から災害に備え、いざという時のための準備をしておきましょう。



防災週間

8月30日～9月5日

9月1日の「防災の日」は、大正12年に発生した関東大震災を教訓に、制定されました。また、毎年9月1日を含む1週間を「防災週間」としていただきます。

日本は位置、地形など



消防だより

有田川町消防本部 05259500
吉備金屋消防署 05259550
清水消防署 02512430

今年の出動など(累計)

火災……………8件
救助……………711件
急助……………10件
(平成27年6月30日現在)

防災豆知識

非常用持ち出し品を準備!

- 非常食品／飲料水は1人1日3L・非常食は保存性が高く火を通さなくても食べられるもの
- 照明器具／懐中電灯・ランタン・予備電池・マッチなど
- ラジオ／携帯ラジオ・電池
- 衣類／約2日分の衣類・防寒着・手袋・タオル・雨具など
- 医薬品／常備薬・絆創膏・はさみ・ピセット・持病のある方はそのための薬
- 貴重品／現金(公衆電話用に硬貨)・印鑑・通帳・保険証など
- その他／ビニール袋・ガムテープ・ティッシュ・生理用品・ラップ・筆記具・携帯電話の充電器・家族の写真など



他にも、備えておきたいものはたくさんありますが、最小限必要な物を優先して選び、両手が使えるようにリュックに入れて準備しましょう。また、就寝時、枕元に懐中電灯・履物も忘れずに!

スマートフォンで

「すみません、誰か来てください」

救命講習会で心肺蘇生の方法を習った方なら聞いたことがあるフレーズかもしれません。

救命率向上を目指し、たくさんの方々に救命講習会を受講してもらっています。いざその場に居合わせると勇気が出ないこともあると思います。

「果たして、これでいいのだろうか:」「やった処置が、もし間違っていたらどうしよう:」「前に習ったときは覚えていたけど、今は自信がない:」

そのような方に、少しでも勇気を持つて心肺蘇生を実施してもらいたいと、私たち消防職員の仲間が、動画サイト「ユーチューブ」に心肺蘇生の動画をアップロードしてくれました。

その動画を出すには、「すみません、誰か来てください」と音声検索すれば、すぐに出てきます。動画を再生し、あとは倒れた人のそばにスマートフォンを置いて、動画を見ながら、聞きながら心肺蘇生を行うことができます。

ぜひ一度、検索してみてください。これならできるかもと、自信がわくかもしれません。



応急手当講習に関するお問い合わせは各消防署までお願いします。

